

2025/10/19

説教題: 私たちは、生ける望みのために新生しました。

聖書朗読: ペテロの手紙 第一 1 章 1 - 12 節

¹イエス・キリストの使徒ペテロから、ポント、ガラテヤ、カパドキヤ、アジヤ、ビテニヤに散って寄留している、選ばれた人々、すなわち、²父なる神の予知に従い、御霊の聖めによって、イエス・キリストに従うように、またその血の注ぎかけを受けるように選ばれた人々へ。どうか、恵みと平安が、あなたがたの上にますます豊かにされますように。

³私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。神は、ご自分の大きなあわれみのゆえに、イエス・キリストが死者の中からよみがえられたことによって、私たちを新しく生まれさせて、生ける望みを持つようにしてくださいました。⁴また、朽ちることも汚れることも、消えて行くこともない資産を受け継ぐようにしてくださいました。これはあなたがたのために、天にたくわえられているのです。⁵あなたがたは、信仰により、神の御力によって守られており、終わりのときに現わされるように用意されている救いをいただくのです。

⁶そういうわけで、あなたがたは大いに喜んでいます。いまは、しばらくの間、さまざまな試練の中で、悲しまなければならぬのですが、⁷信仰の試練は、火を通して精練されてもお朽ちて行く金よりも尊いのであって、イエス・キリストの現われのときに称賛と光栄と栄誉に至るものであることがわかります。⁸あなたがたはイエス・キリストを見たことはないけれども愛しており、いま見てはいないけれども信じており、ことばに尽くすことのできない、栄えに満ちた喜びにおどっています。⁹これは、信仰の結果である、たましいの救いを得ているからです。

¹⁰この救いについては、あなたがたに対する恵みについて預言した預言者たちも、熱心に尋ね、細かく調べました。¹¹彼らは、自分たちのうちにおられるキリストの御霊が、キリストの苦難とそれに続く栄光を前もってあかしされたとき、だれを、また、どのような時をさして言われたのかを調べたのです。¹²彼らは、それらのことが、自分たちのためではなく、あなたがたのための奉仕であるとの啓示を受けました。そして今や、それらのことは、天から送られた聖霊によってあなたがたに福音を語った人々を通して、あなたがたに告げ知らされたのです。それは御使いたちもはっきり見たいと願っていることなのです。

皆さん、おはようございます。皆さんにまたお会いできてうれしいです。今日は新しい説教シリーズを始めます。前回のシリーズでは、新約聖書の中で私のお気に入りの書であるヤコブの手紙を取り上げました。ヤコブの手紙の次の書はペテロの第一の手紙で、皆さんと一緒にこの書を学びたいと思いました。この書には特に注目したいテーマがいくつかあり、以前からもっと詳しく学びたいと考えていました。ですので、今回はそのチャンスです。一緒にこの書を学びましょう。ちなみに、この手紙は私たちの教会の創設牧師のお気に入りの一つでもありました。それも、教会の創立記念を祝った直後にこの書を学ぶことにした理由の一つです。

まず、次の質問をしてみましょう：この手紙の著者は誰でしょうか？それは、私たちの主イエス・キリストの最初の十二弟子の一人であるシモン・ペテロです。彼は十二弟子のリーダーであり、イエスとの特別な関係を持っていました。もともとの名前はシモンでしたが、イエスは彼に「ケパ」または「ペテロ」という名前を与えました。「ペテロ」は「岩」を意味します。「ケパ」はアラム語の名前で、ヘブライ語と同族の言語であり、この時代のユダヤ人の間で主に話されていた言語です。ギリシャ語の「ペテロ」に当たります。

ペテロは自分自身を「イエス・キリストの使徒」と呼んでいます。これは非常に特別な称号です。「使徒」という言葉は単に「使い」と意味することもあります。イエスは自分の広い弟子の中から特に 12 人の男性を「使徒」と呼ぶために特別に指名しました（ルカ 6 章 13 節で読めます）。イエス・キリストのという言葉に注目してください。新約聖書では、使徒という職務だけにこの「イエス・キリストの」という表現が付くことがあります。「イエス・キリストの教師」や「イエス・キリストの預言者」という表現は決して見られません。このイエス・キリストの使徒という言葉は、確かに特別な職務を指しており、独自の権威を持っています。聖書学者たちは、この使徒の職にはいくつかの特別な特徴があると述べています。①それは彼らがキリストご自身により特別に召された（12 人の召命やダマスカスへの道でのパウロの召命でそれを見ることができます）ことや、②復活後のキリストを見たことがある（1 コリント 9:1 および 15:7-9 を参照してください）ということです。③使徒たちは初期教会を統治し、④神の言葉を語り書く権威を持ち、その権威は旧約聖書の聖句に等しいものでした。

私の二つ目の質問はこうです：この手紙は誰に宛てて書かれたのでしょうか？第一節には、「ポント、ガラテヤ、カパドキア、アジア、ビテニアに散らばって住む寄留している者たちに」と書かれています。ここに地図を表示しています。今日ではこの地域はトルコとして知られていますが、トルコ人がこの地域を支配するのは中世に入ってからです。この地図は、ローマ時代に存在した様々な州を示しています。西部にはアジアという州があり、主な都市は沿岸のエフェソスでしたが、新約聖書で言及されている他の都市もあるかもしれません。北部の黒海沿岸にはビテニアとポントの地域があります。中央部にはガラテヤがあり、使徒パウロはこの地域の教会に向けて『ガラテヤ人への手紙』を書きました。東部にはカパドキアの地域が見えます。この地域全体に教会があり、使徒ペテロはこの教会々に手紙を書いているのです。

彼はこれらの人々を「寄留者として住む者...選ばれた者たち」と呼びます。The New International Version の聖書はこのフレーズを「神の選ばれた者たち、各州に散らされた者たち」と訳しています。聖書解説者たちは、ここでの考え方は、これらの人々が文字通りどこから追放されたというわけではなく、私たちキリスト者は将来キリストと共に真の故郷に行くまで、この地上で寄留者/散らされた者として住んでいるということを意味していると述べています。

私の *ESV Study Bible* は、これらの人々についてこのように言っています。

ペテロは文字通りの追放について語っているわけではありません（比較：1 ペテロ 1:17; 2:11）。信者たちは、訪れる新しい世界での彼らの真の家と、終末の相続を切望しています。なぜなら、彼らはこの今の悪しき時代の価値観や世界観に従わないからです。信者たちは単なる散らされた者ではなく、神の「選ばれた散らされた者」です。彼らは神に選ばれた人々であり、イスラエルが旧約聖書で神に選ばれた民として指定されているのと同じです（申命記 4:37; 7:6-8; 詩篇 106:5; イザヤ書 43:20; 45:4）。

この手紙の読者は主に異邦人のキリスト教徒ですが、ユダヤ人キリスト教徒も含まれています。手紙の中でペテロはしばしばイスラエルに関する旧約聖書の言葉を用い、その言葉をキリスト教会に適用しています。このシリーズのペテロの手紙 第一に関する説教を進めていく中で、その例を見ていきましょう。

二節に進みましょう。そこでは使徒ペテロが、これらの散らされた者または寄留者に語りかけています。彼は彼らが「²父なる神の予知に従い、御霊の聖めによって、イエス・キリストに従うように、またその血の注ぎかけを受けるように選ばれた人々へ。…」どうか、恵みと平安が、あなたがたの上にますます豊かにされますように。」と述べています。ここでは三位一体のすべての位格、すなわち父、聖霊、そしてイエス・キリストが言及されています。彼らはすべて、キリストの弟子としての私たちの生活に深く関わっています。

新約聖書には、三位一体の三つの位格すべてに言及しているいくつかの節があります。おそらく、最もよく知られているのは、マタイの福音書 28 章 19 節にある大宣教命令でしょう。－「それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子とせよ。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、…」神である父、...その子...そして聖霊。三位一体のすべての方を見られる別の聖句は、コリント人への手紙 第二 13 章 14 節の祝福にあります。－「主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがたすべてとともにありますように。」神、主イエス・キリストである御子、そして聖霊。

それはコリント人への手紙 第一 6 章 11 節です。－「あなたがたの中のある人たちは以前はそのような者でした。しかし、主イエス・キリストの御名と私たちの神の御霊によって、あなたがたは洗われ、聖なる者とされ、義と認められたのです。」ここに神がおられます...そして御霊がおられます...そして主イエス・キリストがおられます。この節では、私たちが「主イエス・キリストの名によって」洗われ、聖別され、義とされると書かれていることに注目してください。そして、これは「私たちの神の御霊の中で」成し遂げられます。

これは今日の箇所、ペテロの手紙 第一 1 章 2 節でも再度述べられていますが、少し異なる表現が使われています。それではその節をもう一度読みましょう：「²父なる神の予知に従い、御霊の聖めによって、イエス・キリストに従うように、またその血の注ぎかけを受けるように選ばれた人々へ。…」

ペテロは、この手紙を書いている散らされている人々/寄留者たちは神によって選ばれた者であり、「神、父の予知に従って選ばれた」と述べています。これは、神が選ばれた民イスラエルと結んだ旧約聖書の契約を思い起こさせる表現です。ここで、新約聖書学者トーマス・シュライナーがこの「予知」という言葉についてコメントしている箇所を読んでみましょう：

私たちはまず、言葉の契約的な側面を観察することから始めるべきです。ヘブライ語での「知る (know)」という言葉は、多くの場合、人々に与えられる神の契約に基づく愛を指します (参照：創世記 18:19、エレミヤ書 1:5、アモス書 3:2)。この言葉の豊かな連想は、

新約聖書においても引き続き見られます。その予め定められた計画も関与していることは、使徒の働き 2 章 23 節から明らかであり、そこでは予知と予定が結び付けられています。…したがって、ペテロが信者は「神である父の予知にしたがって」選ばれている（選ばれた）と言ったとき、彼は救いにおける神の主権と主導権を強調したのです。[キリスト教の]信者が選ばれているのは、神である父が彼らに契約に基づく愛情を注いだからです。

ここでの強調点は、救いにおける神の主権と主導権にあります。私たちを選んだのは神ご自身であり、それは旧約聖書でイスラエルの民を選ばれたのと同じです。イスラエルの民はシナイ山で神との契約関係に入った際、民は神の戒めに従うことを約束し、神は民を大切にすることを約束しました。同じように、今日の私たちクリスチャンも、神の契約に基づく愛を体験します。これにより、私たちは散らされた者や寄留者としてこの地上で過ごす間も、神が変わらずに愛し、守ってくださることを信じることができます。

次に 2 節で見たいフレーズは、「御霊の聖めによって、…選ばれた人々へ」という部分です。聖化は聖霊の主要な働きの一つです。先週、お話ししたように、私たちが聖なる者とされ、神に捧げられ、この罪深い世界から分けられて神を敬う生き方をするのも、私たちの内におられる聖霊の力によるものです。

2 節の三つ目の重要なフレーズは、私たちが選ばれたのは「イエス・キリストに従うように、またその血の注ぎかけを受けるように（聖められるために）」ためであるということです。従順の最初のステップは、私たちが罪から離れてキリストに従うことに向かうときの回心です。そしてその後、先週述べたように、私たちは彼の教えに従って生きることを自らの人生において誓います。この節はまた、私たちがイエス・キリストの血によって清められることを示しています。私たちの罪の罰を支払うのは、十字架での彼の犠牲です。

ペテロが血を振りかけるといふこの比喻を使うとき、彼は出エジプト記の場面、すなわち古い契約が血の流れとともにシナイ山で始まった場面をほのめかしているように思われます。出エジプト記 24:3-8 を読みましょう – 「**3**そこでモーセは来て、主のことばと、定めをことごとく民に告げた。すると、民はみな声を一つにして答えて言った。「主の仰せられたことは、みな行ないます。」**4**それで、モーセは主のことばを、ことごとく書きしるした。そうしてモーセは、翌朝早く、山のふもとに祭壇を築き、またイスラエルの十二部族にしたがって十二の石の柱を立てた。**5**それから、彼はイスラエル人の若者たちを遣わしたので、彼らは全焼のいけにえをささげ、また、和解のいけにえとして雄牛を主にささげた。**6**モーセはその血の半分を取って、鉢に入れ、残りの半分を祭壇に注ぎかけた。**7**そして、契約の書を取り、民に読んで聞かせた。すると、彼らは言った。「主の仰せられたことはみな行ない、聞き従います。」**8**そこで、モーセはその血を取って、民に注ぎかけ、そして言った。「見よ。これは、これらすべてのことばに関して、主があなたがたと結ばれる契約の血である。」

ペテロの手紙 第一 1 章 1 節から 2 節は基本的なものです。神は主権者であり、救いは神によって開始されます。私たちは神に愛され、神によって選ばれ、聖霊によって聖別され、

私たちの罪のための犠牲であるイエスの血で塗られています。そして私たちはイエスに従う生活を送ります。私たちはこの地上で異邦人として、将来イエスとともに住む家を心待ちにして生きています。これらの考え方は、ペテロの手紙 第一で私たちがこれから学ぶすべての基盤となります。ペテロは2節の終わりで、彼の手紙の始まりの言葉を、この祈りで締めくくります。－「どうか、恵みと平安が、あなたがたの上にますます豊かにされますように。」

では、3-5節を読みましょう－「**3** 私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。神は、ご自分の大きなあわれみのゆえに、イエス・キリストが死者の中からよみがえられたことによって、私たちを新しく生まれさせて、生ける望みを持つようにしてくださいました。**4** また、朽ちることも汚れることも、消えて行くこともない資産を受け継ぐようにしてくださいました。これはあなたがたのために、天にたくわえられているのです。**5** あなたがたは、信仰により、神の御力によって守られており、終わりのときに現わされるように用意されている救いをいただくのです。」

ああ、－ ペテロは書くすべての文に本当に多くの神学を詰め込んでいます。神の大いなる憐れみにより、私たちは「イエス・キリストの復活によって、生きた希望に生まれ変わるようになった」のです。

神の偉大な恵みと憐れみによって、神は私たちをキリストにあって新しい被造物として生まれ変わらせてくださいました（コリント人への手紙 第二 5章 17節には、「17 だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」）

私たちは「生ける希望」を持っています－私たちはただの願望で生きるのではなく、信実な神とその約束に基づいた希望を持っています。これはヘブル人への手紙のあの素晴らしい章を思い起こさせます：11章は信仰について語り、信仰によって生きた多くの人々の例を挙げています。ヘブル 11:1 および 3節－「1 信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。3 信仰によって、私たちは、この世界が神のことで造られたことを悟り、したがって、見えるものが目に見えるものからできたのではないことを悟るのです。」この章は、旧約聖書の多くの聖人たちの証しと、彼らがどのように信仰によって生きたかを述べています。それぞれ異なる物語を持ち、一部は殉教を経験し、他の者は困難な時期の後に独自の勝利を得ました。章の中ほどでは、13節と 16節でこれを読むことができます。－「13 これらの人々はみな、信仰の人々として死にました。約束のものを手に入れることはありませんでしたが、はるかにそれを見て喜び迎え、地上では旅人であり寄留者であることを告白していたのです。…16 しかし、事実、彼らは、さらにすぐれた故郷、すなわち天の故郷にあこがれていたのです。それゆえ、神は彼らの神と呼ばれることを恥となさいませんでした。事実、神は彼らのために都を用意しておられました。」それは、ペテロが手紙の冒頭で述べているのと同じ希望のように聞こえます。

ヘブル人への手紙の 12章では、11章の聖徒たちは「多くの証人の雲」と呼ばれています。彼らは信仰の生活が生きる価値があることを証言しており、この手紙を読むキリスト者たちは、1節から 3節で希望の言葉を与えられています。－「1 こういうわけで、このよう

に多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、いつさ
いの重荷とまつわりつく罪とを捨てて、私たちの前に置かれている競走を忍耐をもって走
り続けようではありませんか？ 2 信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さな
いでいなさい。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのゆえに、はずかしめをものともせ
ずに十字架を忍び、神の御座の右に着座されました。3 あなたがたは、罪人たちのこのよ
うな反抗を忍ばれた方のことを考えなさい。それは、あなたがたの心が元気を失い、疲れ
果ててしまわないためです。」

ヘブル人への手紙 11 章と 12 章で私たちが読んだことは、本日の箇所でのペテロの言葉と
平行しています。もう一度 1 ペテロ 1 章 3 節を読みましょう。－「3 私たちの主イエス・
キリストの父なる神がほめたたえられますように。神は、ご自分の大きなあわれみのゆえ
に、イエス・キリストが死者の中からよみがえられたことによって、私たちを新しく生ま
れさせて、生ける望みを持つようにしてくださいました。」

私たちが生きる希望に新たに生まれるのは、イエス・キリストが死者の中から復活を通し
てきます。私たちの罪のために十字架でのキリストの犠牲、そして続く復活によって、罪
と死に対するキリストの勝利が示され、私たちの新しい誕生と生きる希望が可能となりま
す。イエスが死者の中から復活されたので、私たちがイエスを信頼している者は、将来、
天の故郷でイエスと共にいることを確信することができます。

4 節には、朽ちることも汚れることも、消えて行くこともない資産を受け継ぐようにして
くださいました。これはあなたがたのために、天にたくわえられているのです。」を手に
入れていると書かれています。

私たちの天国での場所はすでに確保されています。あなたは天国の予約をしましたか？ キ
リストをあなたの主であり救い主として信頼していますか？ あなたの罪から離れ、それを
告白し、彼の赦しを受け入れましたか？ まだであれば、今日の礼拝後にぜひ私たちの牧師、
役員のメンバー、または講堂の後ろにある「リフト」サインの近くにいる人にお話しくだ
さい。私たちは、神との正しい関係への道をあなたに示すことができます。

5 節は、私たちは「信仰により、神の御力によって守られており、終わりのときに現わさ
れるように用意されている救いをいただくのです。」と言っています。

私たちは罪を告白し、キリストに信仰を置いたときに救われましたが、私たちの救いは、
イエスが再び来てすべてのものを回復される時、つまり時の終わりに完全に実現します。
私たちの救いの完全な実現には、新しい体と、すべての罪の腐敗からの完全な自由が伴い
ます。私はヨハネの手紙 第一 3 章 2-3 節を思い出します。そこでは、キリストが戻られ
たときに何が起こるかが書かれています。－「2 愛する者たち。私たちは、今すでに神の
子どもです。後の状態はまだ明らかにされていません。しかし、キリストが現われたなら、
私たちはキリストに似た者となることがわかっています。なぜならそのとき、私たちはキ
リストのありのままの姿を見るからです。3 キリストに対するこの望みをいだく者はみな、
キリストが清くあられるように、自分を清くします。」

私たちの希望をしっかりとキリストに固定しておきましょう。

ペテロの手紙 第一 1:6-7に行きましょう – 「6 そういうわけで、あなたがたは大いに喜んでいます。いまは、しばらくの間、さまざまな試練の中で、悲しまなければならぬのですが、7 信仰の試練は、火を通して精練されてもなお朽ちて行く金よりも尊いのであって、イエス・キリストの現われのときに称賛と光栄と栄誉に至るものであることがわかります。」

この地域の教会は迫害やその他の試練を経験していました。そのため、ペテロは彼らが神に選ばれ、朽ちることのない決して消えることのない確かな相続財産を持っていることを思い出させたいと考えたのです。この信仰によって、彼らはさまざまな困難を乗り越えることができます。6 節は、これらの試練を経験することが必要であるかもしれないことを示唆しており、7 節はそのような試練がまるで火によって試されるかのように彼らの信仰を試し、最終的には彼らの信仰を証明することになると言っています。これは実際に望ましい過程であり、私たちの信仰の試練は、金よりもさらに貴重なものなのです。

ヤコブ 1:2-4 - 「2 私の兄弟たち。さまざまな試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい。3 信仰がためされると忍耐が生じるということを、あなたがたは知っているからです。4 その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは、何一つ欠けたところのない、成長を遂げた、完全な者となります。」

ローマ人への手紙 5 章 3-5 節は、この問題について関連することを述べています – 「3 そればかりではなく、患難さえも喜んでいます。それは、患難が忍耐を生み出し、4 忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと知っているからです。5 この希望は失望に終わることがありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。」

患難や試練は気持ちの良いものではありませんが、それらは私たちの信仰を証明し、いくつかの望ましい性格特性をもたらします：忍耐、確かな人格、希望。もう一度、その言葉です：希望。

ペテロの手紙 第一 1 章に戻り、8 節と 9 節を読みましょう – 「8 あなたがたはイエス・キリストを見たことはないけれども愛しており、いま見てはいないけれども信じており、ことばに尽くすことのできない、栄えに満ちた喜びにおどっています。9 これは、信仰の結果である、たましいの救いを得ているからです。」この地域のキリスト教徒たちはイエスを肉眼で見たことはありませんでしたが、イエスを愛し、信じています。ヨハネの福音書 20 章 29 節で、復活された主をついに目にした疑い深いトマスに対して、イエスはこう語られました。 – 「29 イエスは彼に言われた。「あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ずに信じる者は幸いです。」」

今日は文章の最後の部分を読みましょう。ペテロの手紙 第一 1:10-12 – 「10 この救いについては、あなたがたに対する恵みについて預言した預言者たちも、熱心に尋ね、細かく調べました。11 彼らは、自分たちのうちにおられるキリストの御霊が、キリストの苦難とそれに続く栄光を前もってあかしされたとき、だれを、また、どのような時をさして言われたのかを調べたのです。12 彼らは、それらのことが、自分たちのためではなく、あなたがたのための奉仕であるとの啓示を受けました。そして今や、それらのことは、天から送られた聖霊によってあなたがたに福音を語った人々を通して、あなたがたに告知されましたのです。それは御使いたちもはっきり見たいと願っていることなのです。」

天使たちは、人類という神の独自の創造に驚嘆します。また、神が男女に提供された救いにも驚嘆します。「キリストの霊」と呼ばれる聖霊の啓示を通して、旧約の預言者たちは、来たるメシアを通して神が与えようとする恵みの預言をしました。ここ 12 節では、これらの古代の預言者たちに示されたメッセージは、単に彼ら自身や彼らの世代のためだけではなく、主に西暦 1 世紀以降の人々、すなわちペテロがこの書簡を書いた時代の聴衆のような人々、すなわちキリスト者のためであることが明らかにされています。天から送られた聖霊は、旧約の預言者を通して語り、また新約の使徒や伝道者を通して語り、救いを必要とする人々に福音のメッセージを届けました。

私のメッセージはここで終わりです。

今日のペテロの手紙 第一の箇所から私たちが学んだ主な教訓はいくつかありますか？

- 私たちはキリストと共に天の故郷に結ばれるまで、この地上では外国人として暮らしています
- 古代イスラエルのように、私たちクリスチャンは神に選ばれ、神の契約の愛を享受する者とされています。
- 救いは父、子、聖霊の働きによるものです — 父の選び、御子の贖いの死と勝利の復活、そして霊による私たちの生活における聖化の働きです。
- この人生で多くの試練があっても、私たちは「生きる希望」にしっかりと立つことができます。それは、イエス・キリストの死者からの復活と、将来の自分の復活の約束に根ざした希望です。
- 永遠の命のこの約束は、私たちが受け継いだ相続財産であり、朽ちず、色あせることなく、天に私たちのために蓄えられています。
- 聖霊は旧約聖書の預言者を通してキリストの到来を預言し、そして新約聖書の使徒たちを通して私たちに福音のメッセージが伝えられました。
- 試練は受け入れるべきです。なぜなら、それが忍耐を生み、私たちの信仰を証明するからです。
- 信仰に忠実な生涯の結果は、私たちが天でキリストと共にいるときに、究極の救いとなるでしょう。